

歳出で35億6,980万円(一般会計)

昭和52年度会計決算

総額では41億1,481万円に

昭和五十二年の一般会計と、国民健康保険など三つの特別会計の決算が、昨年十二月の第五回市議会定例会で認定されました。その主な内容は次のとおりです。

適正な財政運営

実質収支は二億二千万円

昭和五十二年の決算額は、一般会計と特別会計の合計で、歳入総額四十三億三千六百二十六万二千円、歳出総額四十一億一千四百八十一万二千円となり、これを前年と比較すると、歳入で二億六千六百三十二万一千円(六・五%)の伸びとなり、歳出では二億四千四百七十一万七千円(一四・一%)の増加になりました。

た、歳出決算額は予算現額に対して九五・二%の執行率でした。歳入額から歳出額を差し引いた実質収支額は、二億二千四百四十五万円でした。市監査委員会の決算審査意見書は「各会計決算の内容、予算執行状況などについては、一般的に適正妥当である」と認めています。

自主財源は五九・六%

一般会計歳入

歳出決算は、予算額に対し九九・一%の収入率となり、調定に対しては九八・〇%でした。これは前年の予算比で〇・六%、調定比では〇・七%の減になりました。ま

一般会計歳入

一般会計の歳入決算額は、三十七億三千五百五十五万二千円で、予算額に対し一千三百七十七万三千円(〇・四%)の減になりました。市税、使用料、諸収入などの自主財源は二十二億二千七百九十万円で、決算額の五九・六%を占めています。前年に比較すると二億一千六百四万八千円(一〇・七%)の増加になりました。市税と諸収入などが増えたことが原因です。

執行率は九五・二%

一般会計歳出

一般会計の歳出決算額は、前年より六・一%増え、三十五億六千九百八十万円になりました。予算額三十七億四千八百七十二万五千円に対する執行率は九五・二%で、予算執行残額は一億七千八百九十二万五千円でした。

歳出科目別にみると、トップは総務費の六億八千七百八十六万五千円(構成費一九・三%)で、次いで土木費の五億九千五百四十二万三千円(一六・七%)、教育費は四億八千三百三十一万一千円(一三・五%)、民生費は四億四千三

昭和52年度一般会計款別決算状況

